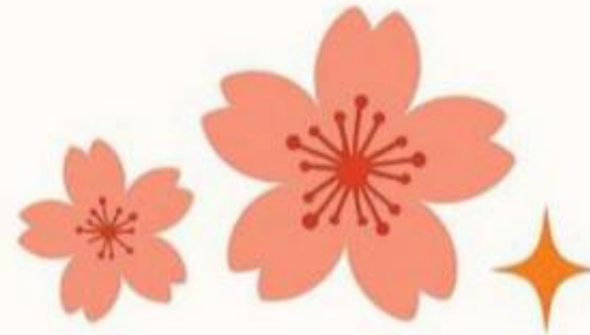


桐生市立商業高等学校



学校説明会
2025年8月6日（水）

S.P.A



S.P.A.R.K.

**Students' Power of Agency
and Resilience at Kirisho
for our well-being!**

being !

● 本校独自の教育ビジョン

『**S**tudents' **P**ower of
Agency and **R**esilience at **K**irisho
for our Well-being ! 』

● 本校独自の教育ビジョンの特徴

『Agency』

『Resilience』

『for our well-being』



● 本校独自の教育ビジョンの最上位目標

『自ら考え、判断し、
行動できる生徒』の育成

● 本校独自の教育ビジョンの特徴

認知能力

Cognitive skills

- ✓ テストの点数
- ✓ 偏差値・資格
- ✓ IQ

非認知能力

Non-cognitive skills

数値では計りにくい
日常生活・社会活動に
おいて重要な影響を
及ぼす能力

● 本校独自の教育ビジョンの特徴

『**認知能力**』だけではなく

『**非認知能力**』を育成する！

● 本校独自の教育ビジョンの特徴

なぜ『**非認知能力**』が
必要なのか？

『急激な社会の変化』

『従来のビジネスモデルの変化』

『低迷する経済』

『答えのない多くの社会課題』

『急激な人口減少』

『多様な価値観』

『終身雇用制の崩壊』

● 本校独自の教育ビジョンの特徴

『予測困難な時代』のなかで

『生きる力』を育む必要性

● 生徒に身につけさせたい資質・能力

- ① 自ら考え、判断し、行動する力
- ② 目標をもって主体的に取り組む力
- ③ 商業高校生としての確かな学力と高い技能
- ④ 問いを立て、工夫しながら課題に取り組む力
- ⑤ ねばり強く挑戦し、困難を乗り越える力
- ⑥ 自分と向き合う力・自分を高める力・他者とつながる力

● 本校独自の教育ビジョン

くわしくは

『本校独自の教育ビジョン』

を是非ご覧ください！

令和7年度 桐生市立商業高等学校 教育ビジョン（全定共通）

4/21 全日制職員会議・4/22 定時制職員会議
4/25 開校記念式典後、全校生徒・保護者配信

1 本校の教育ビジョンの総論

“SPARK for our well-being！”

2 最上位目標

『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』

3 策定の趣旨

変化が激しく、将来の予測が困難な現在の社会においては、一人一人が『主体性』を持ち、『自ら考え、判断し、責任をもって行動していく必要』があります。

本校では、人が誰しも生まれつき持っている、『自分と社会をより良くしようと願う意志や原動力（Agency：エージェンシー）』を発揮して、自らの意思と選択で自ら学びをつくり、実際の行動に移せるようになるような教育を目指し、本校の教育活動の基本的な方向性を定めます。

4 目指す学習者像

- ① 生徒自らが『主語』となる学びをつくり、深めていく
- ② 社会課題を『自分事化』して、行動に移す
- ③ 『多様性』を尊重し、互いに認め合う
- ④ 『対話と交流』により、信頼関係を築いていく
- ⑤ 生涯にわたり『学び続ける喜び』を実感し、共有していく

5 取組事項

本校の教育活動では、『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』を最上位目標に据え、次に掲げる事項について、実践を行います。

- ① 授業改善（個別最適化・生徒の主体性＆非認知能力の育成・一人一台端末の効果的な利用等）に関すること
- ② 特別活動（学校行事・生徒会活動・委員会活動・部活動・有志活動）に関すること
- ③ 探究的な取組（課題研究等）に関すること
- ④ その他の学校における取組に関すること
- ⑤ 周知＆広報活動（HP・Instagram等）

6 重点事項

- ① Agency（エージェンシー）を発揮する『自律した学習者』の育成
- ② 『主体性（≠自主性）』と『当事者意識』の育成
- ③ 『生きる力』としての『認知能力』と『非認知能力』の育成
- ④ 『自分とまわりの人々の well-being（ウェル・ビーイング）』の向上・維持
- ⑤ ひとりひとりの『心理的安全性』の確保

7 生徒に身につけさせたい資質・能力

- ① 自ら考え、判断し、行動する力
- ② 目標をもって主体的に取り組む力
- ③ 商業高校生としての確かな学力と高い技能
- ④ 問いを立て、工夫しながら課題に取り組む力
- ⑤ ねばり強く挑戦し、困難を乗り越える力
- ⑥ 自分と向き合う力・自分を高める力・他者とつながる力



桐商 HP & Instagram QR コード



* 『OECD Learning Compass 2030』『群馬県教育ビジョン』『SAH 事業』等を参考に作成

● 本校独自の教育ビジョン

SPARK事業の 広報の柱として

『SPARK Journal』 を発行

Kirisho S.P.A.R.K. Journal Vol.04 June 5th, 2025
for our well-being! ~『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして~

あらためて『桐生市立商業高等学校教育ビジョン』のなかの
『2つのチカラ（Agency&Resilience）』について考えてみよう！

①『Agency（エージェンシー）』とは？？？

◆基本的な意味◆
『自分の意思で考え、判断し、行動する力』
・・・本校の教育活動の最上位目標『自ら考え、判断し、行動できる力』そのものです！
『他人に指示されるままではなく、自分自身の価値観や目的に基づいて動ける力』

◆教育におけるエージェンシー◆
教育の文脈では、生徒が以下のような姿勢を持つことを指します：
自分の学びに対して『主語』になる
社会や周囲の環境を『よりよくしたい』と願う意志がある
困難や選択肢の中で、自分で決断し、行動に移す

◆OECD ラーニング・コンパス 2030 における定義◆
『自分自身と他者、そして社会のより良い未来を創るために、意識的に目標を定め、行動する能力と意志である』

◆群馬県教育ビジョンにおける「エージェンシー」の定義◆
群馬県教育委員会は、『群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）』において、『エージェンシー』を以下のように定義しています。
『人が誰しも生まれついて持っている、自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力』

いかがでしょうか？私がみなさんに説明する場合には、『自分がいる場所をよりよくするために、自ら考え、判断し、行動する力』と定義しています。群馬県の定義の前半にある『人が誰しも生まれついて持っている』という部分を私も感じています。『自分のいる場所』をよくするためにみんなで知恵を絞り、意見が異なる場合にも粘り強く『対話』による『合意形成』をしていく経験を増やしていきたいです！（校長 星野 亨）



②『Resilience（レジリエンス）』とは？？？

簡単にいうと、『失敗や困難で心が折れそうになっても、そこから回復する力』です。そして、『誰もが持っていて、育てることができる力』であり、みなさんにぜひ意識してもらいたい『生きる力』のひとつです。言い換えれば、『精神的回復力』であり、最近さまざまな場面で見られる回数が多くなってきたコトバです。

強い心というと、何があっても動じないタフな精神力を想像しがちですが、そこまで強靱な気持ちを持つことは難しいものです。その人の資質や性格などにも大きく左右されます。大人でさえ、どんなときも『折れない心』の持ち主というのは、多くはないはずです。

誰でもつらい状況や困難に直面することがたくさんあります。気持ちが落ち込み、ストレスに押しつぶされることもあるでしょう。そういうときに、『レジリエンス』という心の回復力を意識していれば、一度落ち込んだところから立ち直って、そこからどうするかを考えることができるようになります。意識次第で、『育てることができる力』なのです。

『レジリエンス』を例えて言うなら、『頑丈な大木』というよりも『しなやかな竹』のイメージがよいでしょう。一見、頑丈な心でも、大木が強風に耐えきれず折れてしまうように、思いもかけないタイミングでボキッと折れてしまうことがあるかもしれません。一方、『竹のような弾力性、柔軟性を持つ心』であれば、どんなに逆境に押し倒されてもやがて『ゆっくりと立ち上がる・起き上がる』ことができるのです。『立ち直るスピード』は人それぞれで、時間がかかっても構いません。

人が目標に向かって真剣に取り組んでいる際に、『困難』や『失敗』は当然生じてくるものです。『避けては通れないもの』と言っても過言ではないでしょう。当然、うまくいかなければ『落胆』します。したがって、そんなときこそ『レジリエンス』を鍛えるチャンスなのです。本校教育ビジョンのなかにも『粘り強く取り組み』『困難を乗り越える力』を入れ、みなさんに日ごろから意識して、自分のなかで育んでいただきたいと思います！

まずは『竹のようなしなやかな回復力』を『意識』するところからはいかがでしょうか？『ゆっくりと立ち上がる・起き上がる』イメージがよいのです。



ぜひ『生徒ファースト』の
桐生市立商業高等学校へ
みなさんをお待ちしています！



● 9/29（月）第1回SPARK講演会@美喜仁桐生文化会館

第1回『S.P.A.R.K. for our well-being!』講演会

All HEROs 合同会社代表・IPU 環太平洋大学特命教授・日本非認知能力協会会長

中山 芳一（なかやま よしかず）先生



- ・1976年1月、岡山県岡山市生まれ、岡山大学教育学部卒業後、9年間の学童保育現場を経て教育方法学の道へ
- ・2010年から岡山大学全学キャリア教育や正課外教育の担当教員となる
- ・これまで実践してきた学童保育とキャリア教育との間に共通する伸ばしたい力が「非認知能力」であることを見出す
- ・2024年8月末をもって岡山大学を退職する
- ・「非認知能力」育成のための研修や講演、執筆活動に勤しむとともにTBS日曜劇場「御上先生」の教育監修を務めるなど幅広いフィールドで活躍中

演題：『桐商 SPARK! ～自ら考え、判断し、行動するために、知っておきたい非認知能力と Agency～』



● 9/29（月）第1回SPARK講演会@美喜仁桐生文化会館

<演題>

『桐商SPARK！

～自ら考え、判断し、行動するために、
知っておきたい非認知能力とAgency～』

● 9/29（月）第1回SPARK講演会@美喜仁桐生文化会館



<講演会の予習として>

8/19発売!

中山芳一先生 著

『非認知能力の強化書』

東京書籍

税込み1,980円

● 9/29（月）第1回SPARK講演会@美喜仁桐生文化会館


第2回 SPARK講演会 11/28(金)

第3回 SPARK講演会 3/13(金)

多方面から講師をお招きし、
『自ら考え、判断し、行動できるためのヒント』
を得る予定！！！！

『保護者 Agency』

『施設改修を要望する 陳情書』を市長へ提出！



S.P.A.R.K.
Students' Power of Agency
and Resilience at Kirisho
for our well-being!



『施設改修を要望する陳情書』を市長へ提出！

①体育館へのエアコン設置

②トイレ衛生環境の改善

③Wi-Fi環境の改善

『公益性』が高く、生徒募集にも影響大！

● 『施設改修を要望する陳情書』を市長へ提出！

9/19(金)16:00~16:30

荒木桐生市長にPTA本部役員さんが

『陳情書』を提出する際に

『同行してくれる生徒』を募集！！！！

『生徒としての気持ち』を伝えるチャンス！

『保護者 Agency』

『自分たちの未来は変えられるという体験』を
保護者の背中で
生徒たちに示したい！



● 本校独自の教育ビジョンの特徴

『Agency』

『Resilience』

『for our well-being』



● 本校独自の教育ビジョンの最上位目標

『自ら考え、判断し、
行動できる生徒』

『2学期』もよろしく！